

第3期 群馬県スポーツ推進計画（令和8年度～令和12年度）概要

策定の趣旨

- 現行の「群馬県スポーツ推進計画」の計画期間が終了することから、「スポーツ基本法」や「群馬県スポーツ振興条例」の主旨及びスポーツを取り巻く様々な状況を踏まえ、新たに策定する。

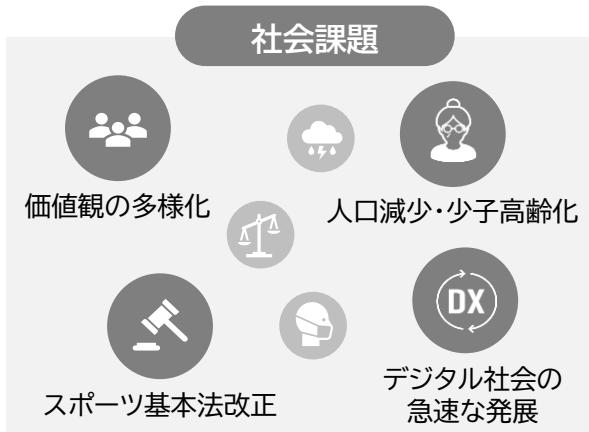
位置づけ

期間

- 令和8（2026）年度から令和12（2030）年度までの**5**年間

計画の目指す方向性

- 令和11（2029）年に開催される「湯けむり国スポ・全スポぐんま」を追い風に、**群馬県のスポーツ振興施策を加速**させ、「**県民誰もがスポーツによって、県民幸福度-Well-being-を向上し、活力ある群馬県を創生する**」という基本理念の実現を目指す。



目標方向性(基本理念)

県民誰もがスポーツによって、
幸福度-Well-being-を向上し、
活力ある群馬県を創生する

施策体系

基本理念

県民誰もがスポーツによって、**県民幸福度-Well-being-**を向上し、活力ある群馬県を創生する

メイン
コンセプト

「湯けむり国スポ・全スポぐんま」のアクションから未来につながる価値創出

政策目標

I. 県民のスポーツ参加拡大による
健康長寿社会の実現

II. パラスポーツの推進を軸とする
共生社会の実現

III. スポーツの魅力を活かした
活力ある地域創生の推進

IV. スポーツの力による
感動の創出と誇りの醸成

①スポーツ参画人口の増加

①パラスポーツの普及拡大

①プロスポーツの活用等による
地域の魅力発信

①競技力を向上させる
システムの構築

②地域スポーツを支える
人材の育成と機会の充実

②パラスポーツを支える
人材の育成

②アウトドアスポーツによる
交流人口の増大

②アスリートの発掘・育成

施策

③子どものスポーツ機会の充実

③性別・年齢・国籍等に
関わらないスポーツ参加

③eスポーツ、アーバンスポーツ
による地域経済の活性化

③データサイエンスの活用

④ライフステージに応じた
スポーツ参加

④スポーツ施設の有効活用

④アスリートをサポートする
人材・組織の育成

あかぎ国体以来46年ぶりの開催となる、2029年の第83回国民スポーツ大会・第28回全国障害者スポーツ大会。

大会愛称は 「湯けむり国スポ・全スポぐんま」 です。

群馬県の誇る温泉の「湯けむり」のように、湧き上がる創造力とエネルギーを結集し、県民一丸となって **『群馬らしさ』を体現する大会** として開催します。 **国スポの総合優勝を目指す**とともに、**今の時代に合ったコンパクトな大会** とし、**サステイナブルな大会** としての **「新しいスタンダード」** を示します。

さらに、「湯けむり国スポ・全スポぐんま」を単なるスポーツイベントに終わらせることなく、**持続的な選手強化の仕組みづくり**など、開催を通じて **未来へつながる価値を創出** し、**群馬県のスポーツ環境の向上** に取り組みます。

現行施策



競技力向上



生涯スポーツ



パラスポーツ



スポーツ施設



e スポーツ



学校体育

etc.



国スポ・全スポ開催を機に
施策全体をアップデート



✓ 未来へつながる価値創出

✓ 群馬県のスポーツ環境の向上

「湯けむり国スポ・全スポぐんま」関連の具体的な取組



スポーツを核とした 地域活力の向上

- 新 アスリートファーストの開・閉会式の開催【政策III-①】
- 新 民間企業の力を活用した認知度向上・大会への参加促進【政策III-①】
- 新 官民共創による県民幸福度の向上【政策III-①】
- 新 湯けむり国スポ・全スポぐんまでの普及促進(eスポーツ)【政策III-③】



ワiziaスパンディング の推進

- 拡 民間ノウハウの活用【政策III-④】
- 拡 市町村と連携した施設整備(拠点スポーツ施設)
【政策III-④】
- 新 既存競技施設の最大限の活用【政策III-④】
- 新 地域経済の活性化につながる施設整備【政策III-④】
- 新 計画的な競技用具整備【政策III-④】



誰もが参加できる スポーツ文化の醸成

- 拡 スポーツイベント等の開催【政策I-①】
- 新 県内市町村でのデモンストレーションスポーツの実施【政策I-①】
- 新 障害の有無等に関わらず、共にスポーツを楽しむ機会の創出【政策II-①】
- 新 湯けむり国スポ・全スポぐんまの応援参加の促進【政策IV-④】



持続的な人材育成と 競技力向上の推進

- 新 審判員等の競技役員の養成【政策I-②】
- 新 国スポ後も持続する競技力向上の推進(運動部活動の改革推進)【政策I-③】
- 新 長期的な競技力向上につながる「ぐんまハイパフォーマンスシステム」の推進【政策IV-①】
- 拡 国際大会や全国大会で活躍できるジュニアの発掘・育成【政策IV-②】
- 拡 一貫した指導による小学生・中学生・高校生の育成・強化【政策IV-②】
- 拡 全国や世界で活躍できるアスリート・指導者の育成【政策IV-②】
- 拡 活躍が期待されるアスリートの紹介【政策IV-②】
- 拡 データサイエンスやスポーツテックを活用したアスリート強化【政策IV-③】
- 拡 健康体力測定とフィールド測定の実施【政策IV-③】
- 拡 スポーツ栄養士・アスレチックトレーナー等の活用【政策IV-③】
- 新 専門人材と連携したアスリートへの支援体制の構築【政策IV-③】
- 拡 質の高い指導者等の養成【政策IV-④】
- 新 競技団体や民間事業者等との連携【政策IV-④】
- 新 スポーツを実施する者の安全・安心の確保(競技スポーツ)【政策IV-④】
- 新 スポーツ・インテグリティの強化(競技スポーツ)【政策IV-④】
- 拡 群馬県のスポーツ界における好循環の創造【政策IV-④】



共生社会に向けた歩みの深化

- 拡 関係団体等との普及啓発活動【政策II-①】
- 新 子どもから広がる共生社会への理解促進【政策II-①】
- 拡 選手の育成・強化(パラアスリート支援)【政策II-①】
- 拡 各種障害者スポーツ大会の開催【政策II-①】
- 拡 競技団体の育成(パラスポーツを支える人材の確保)【政策II-②】
- 拡 パラスポーツ指導員等の養成【政策II-②】
- 新 ボランティアの負担軽減等による参加しやすい形の構築【政策II-②】
- 新 適正規模の情報支援ボランティアの養成・配置【政策II-②】
- 新 誰もが情報にアクセスできる環境整備及び利便性向上【政策II-②】
- 拡 バリアフリー・ユニバーサルデザインに配慮した施設の整備【政策III-④】
- 新 ユニバーサルデザインへの対応の促進【政策III-④】
- 新 バリアフリー調査を踏まえた施設改修等【政策III-④】

政策目標Ⅰ

県民のスポーツ参加拡大による健康長寿社会の実現

施策	今後の施策展開（一部抜粋）
① スポーツ参画人口の増加	<ul style="list-style-type: none"> ● 湯けむり国スポ・全スポぐんまをきっかけとした日常生活のスポーツ機会の拡大 新 マンガ・アニメ等の多様な文化を通じたスポーツ機会の創出
② 地域スポーツを支える人材の育成と機会の充実	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域のスポーツを支える人材の確保 ● 総合型地域スポーツクラブの育成と支援
③ 子どものスポーツ機会の充実	<ul style="list-style-type: none"> ● 幼児期からの体力向上の推進 ● 運動部活動の改革推進 ● 子どもを取り巻く地域のスポーツ環境の充実
④ ライフステージに応じたスポーツ参加	<p>新 ライフパフォーマンスの向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 高齢者のスポーツ参加の促進 ● 日常生活のスポーツ機会の拡大

①スポーツ実施率（週1回以上）

R6(2024) 年度

54.7 %

R12(2030) 年度

70 %

③1週間の総運動時間
(体育・保健体育の授業時間以外)
の全国平均との差

R6(2024) 年度

小5男子… -4.29 分
小5女子… -24.09 分
中2男子… +53.01 分
中2女子… +73.34 分

②県連絡協議会に加盟している 総合型地域スポーツクラブの会員数

R6(2024) 年度

4,600 人

R12(2030) 年度

6,900 人

④高齢者（65歳以上）の
スポーツ実施率（週1回以上）

R6(2024) 年度

69.5 %

R12(2030) 年度

75 %

政策目標Ⅱ

パラスポーツの推進を軸とする共生社会の実現

施策	今後の施策展開（一部抜粋）
① パラスポーツの普及拡大	<p>新 パラスポーツを通じたつながりの創出</p> <p>新 パラアスリート支援</p>
② パラスポーツを支える人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ● パラスポーツを支える人材の確保 新 全スポーツランティア参加・観戦の幅広い募集 新 全スポーツ情報支援ボランティア養成
③ 性別・年齢・国籍等に 関わらないスポーツ参加	<p>新 性別・年齢・国籍等に関わらない スポーツ参加の推進</p>

①県民アンケート調査 「パラスポーツの試合・プレーを 観覧したことがある」割合

R6(2024) 年度

30.6 %

R12(2030) 年度

50 %

②日本パラスポーツ協会 公認指導者登録者数 (スポーツコーチ、スポーツ医等含む)

R6(2024) 年度

309 人

R12(2030) 年度

360 人

③20代～50代のスポーツ実施率（週1回以上）

R6(2024) 年度

49 %

R12(2030) 年度

70 %

政策目標Ⅲ

スポーツの魅力を活かした活力ある地域創生の推進

施策	今後の施策展開（一部抜粋）
① プロスポーツの活用等による地域の魅力発信	<ul style="list-style-type: none"> ● プロスポーツチームの魅力向上 ● トップレベルのスポーツに触れる機会の提供 新 開・閉会式の屋内開催 新 官民共創による広報・機運醸成
② アウトドアスポーツによる交流人口の増大	<ul style="list-style-type: none"> ● 観光産業と連携したスポーツツーリズムの推進
③ eスポーツ、アーバンスポーツによる地域経済の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ● eスポーツの普及・拠点化 新 文化プログラムによるeスポーツの推進 ● アーバンスポーツを活用した地域活性化
④ スポーツ施設の有効活用	<ul style="list-style-type: none"> 新 中長期的視点に立った計画的なスポーツ環境の整備 新 既存施設を活用した両大会の開催 新 競技会場のバリアフリー化

①プロスポーツチームと連携して実施した県事業数



②ぐんま県境稜線トレイル登山者数



③eスポーツに関連する大会開催回数（県が主催、共催、後援等するもの）



④県内社会体育施設の利用人数



政策目標Ⅳ

スポーツの力による感動の創出と誇りの醸成

施策	今後の施策展開（一部抜粋）
① 競技力を向上させるシステムの構築	<p>新 競技力向上対策の根幹となる「ぐんまハイパフォーマンスシステム」の推進</p>
② アスリートの発掘・育成	<ul style="list-style-type: none"> ● ジュニア選手の発掘・育成と強化 ● 世界に羽ばたくアスリートの育成・強化
③ データサイエンスの活用	<ul style="list-style-type: none"> ● データサイエンスを活用したアスリート育成 新 医・科学支援体制の構築
④ アスリートをサポートする人材・組織の育成	<ul style="list-style-type: none"> ● 指導者等の養成・確保 新 競技力向上に関わる団体等の組織強化 新 アスリートに理解のある企業の拡大 新 アスリートを応援する文化の醸成

①全国大会優勝者数・国際大会入賞者数



②ぐんまスーパーキッズ・スタージュニアプロジェクト競技数



③健康体力・フィールド測定



④「アスリート・ジョブサポートぐんま」事業で採用したアスリートの人数（延べ）

